

御崎は明治から大正にかけて村を焼く3度の大火灾に見舞われた。平家の守り神「平内神社」に復興記念碑が立

御崎地区活性化施設

崖下にも平家蕪が群生している

「平家の里」ではそば以外に平家蕪の漬物

余部埼(御崎)灯台

平内神社

昭和11年に敷設された上水道

日吉神社

門脇家の墓 細い石敷の道

美伊神社

明治創立の余部小学校御崎分校は、但馬に残る唯一の分校となった。

駐車場には俊龍和尚や村の記念の碑が立

寺子屋があった場所

探検実施日は、道沿いに満開の桜並木が続いていた

漂着した平家一行の家柄は、門脇家、伊賀家、矢引家と、代々御崎に伝わる。